

屋根工事(平瓦葺)

9月9日より、瓦葺き工事が始まりました。

製作を依頼していた愛知県碧南市の工場から、三州瓦が運び込まれました。

焼成温度(瓦を焼き上げる温度)が1100℃以上の耐寒瓦です。

上層(大屋根)の瓦だけでもかなりの量です。

平瓦 約7300枚 唐草瓦 220枚 が運び込まれました。

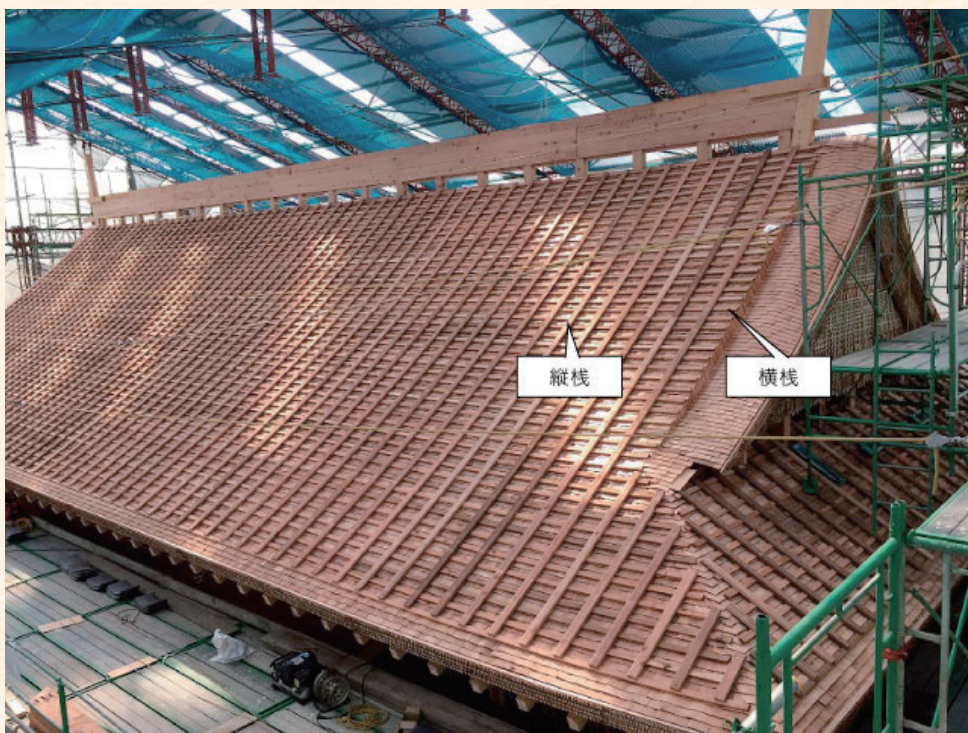


御楼門の瓦工事は、屋根の重さを少しでも軽くするために、空葺き工法(葺土を使わない)で施工します。

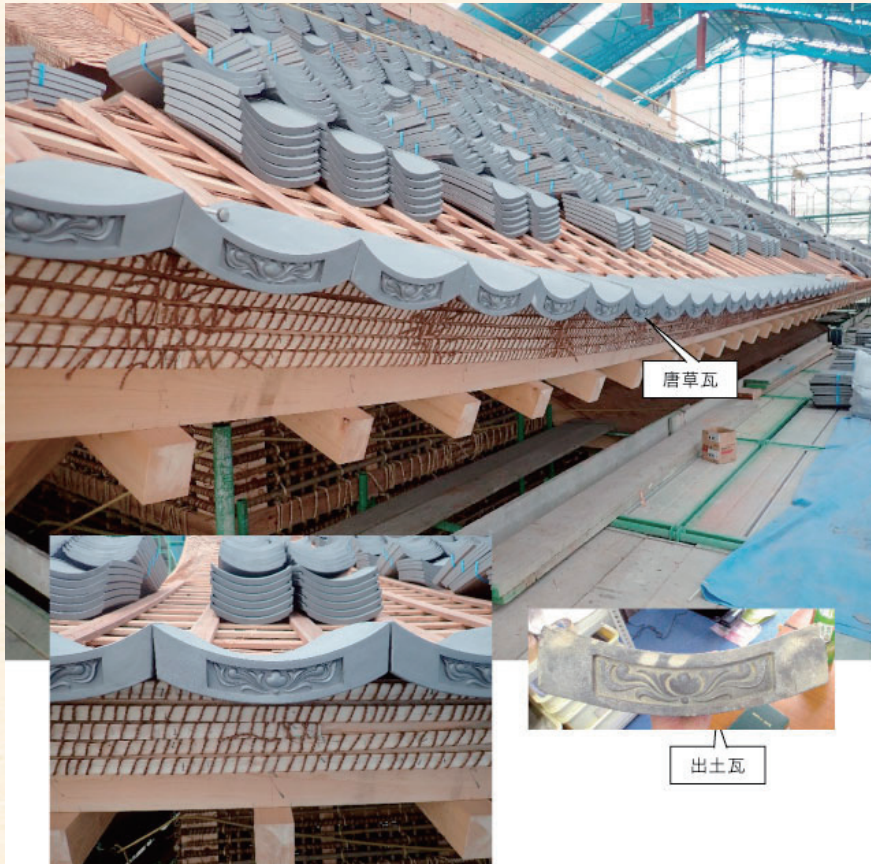
まず、瓦がずり落ちてこない様に横棧(引っ掛け棧 杉材)を約15cm間隔で取り付けます。



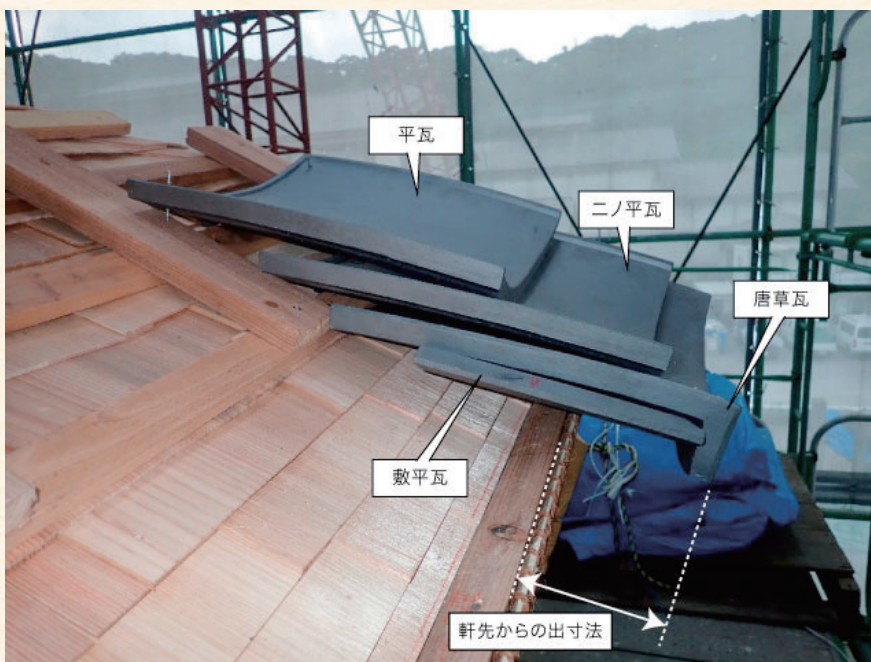
更に、瓦を一枚一枚釘で止めるために、縦棧(たてざん 杉材)を取り付けます。
これで、屋根にしっかりと固定されます。



軒先の唐草瓦を、軒先からの出寸法を揃えながら丁寧に並べていきます。
瓦の大きさ、文様は、鶴丸城跡の発掘調査で出土した瓦(写真右下)を基に製作しています。



横から見た軒先の納まりです。色々な種類の瓦が使われます。



平瓦は、葺足(ふきあし)約15cmで並べていきます。



7、8月に開催した瓦記名会で記名していただいた瓦は、正面中央部に葺かれています。
記名瓦の使用箇所：右から31～42列目、下から9段目～28段目

